

2017年7月4日
発行/日本共産党市議団地域版
自宅/市川市菅野2-14-14-206
Tel/fax 047-323-3640
携帯 090-6310-3294
shimizu@jcp-ichikawa.com
ブログ
http://jcp-shimizu.sblo.jp

日本共産党市議会議員
清水みな子
あおぞらメール No.102



6月市議会
一般質問

家庭ごみ収集への苦情と対応

夏の期間だけでも週3回に戻すこと



集積所にはごみがあふれている

6月市議会での一般質問は、家庭ごみの収集回数減少による苦情と対応について、東菅野の児童交通公園周辺の安全対策について、国府台病院北側市道の拡幅工事について、都市公園廃止のその後について、質問しました。一部を紹介いたします。

収集回数削減による苦情と対応

今年4月から、燃やすごみの収集回数が週3回から2回に減らされたことによる市民からの苦情はどのようなものがあるのか、問いました。私の情が届いています。

徐々に減ってきていると答弁しました。

「市政アンケート」をお願いしています。夏の間だけでも週2回を3回に戻してほしい」という声がありました。おむつを使用している子育て世代や高齢者世帯からは、3回に戻してほしいと切実な訴えもあります。商店街からは「早い時間に収集してほしい」「猛暑になり臭いがすぐ気になる」「カラスがごみを突っついて散らかしている」。収集回数を3回に戻すよう

に要望しました。

ごみ12分別と削減状況について

市川市は15年前から、ごみの12分別をはじめました。導入当初は削減されたということですが、このところは横ばい状態。年配者から、12分別が分かりにくいという声をよく聞きます。製品に書いてある文字も小さいからです。また、外国人の方自治会に未加入の方などに対する周知と対応を問いました。

市の答弁は、分別の十分なものには警告シールを貼ってごみを回収せず、ごみを出した方にルールを守るように啓発しているということですが、ごみが集積所に残されると集積所は汚くなるし、カラスはごみをつつくし、本当にその方法がよいのでしょうか。「資源物とごみの分け方、出し方」リーフを全世帯に配布したと言いましたが、配布されないアパートも残っています。

2カ月で4・6%削減されたということですが、ごみの減量と分別をきちんと行い、ごみ袋の有料化をさせないようにしていきましょつ。

市政アンケートに協力を

毎年市議団で行っています「市政アンケート」を今年は、少しでも早めにお届けしたいと、地域で配布をはじめました。

今年11月には市長選挙が予定されています。市民と野党の共闘を模索して学習会などを積み上げていきます。「市政アンケート」も、市政に対する満足・不満足の間など、多くの皆さんからご意見をいただいて、市政にいかしていきたいと思います。

また、地域での身近な要望、お困りごとについては、市の担当部署に要望し、改善に力を注いでいきます。

公共施設のあり方を考えるフォーラム



6月5日、公共施設のあり方を考える学習会が開かれました。主催は、女性団

体を中心にした公共施設のあり方を考えるフォーラムです。今後、団体、個人など幅広い方を結集し、市川市の公共施設統廃合計画などに対する考えもはっきりさせて、発信していくことにしています。

今回の講師は、自治体問題研究所の角田さんです。市川市のこれまでの公共施設の民営化や指定管理制度への移行なども分析して報告してくれました。

参加者からの発言では「施設の使用料が3倍となり、来年からは会費を値上げしないとやっていけない」「幼稚園の保育料が倍近くに上がり、退園した児童もいる」「市民談話室の存続を求めて運動している」など、各分野から様々な意見が出されました。共産党以外の議員も参加し発言しました。



東菅野にある児童交通公園

児童交通公園の安全対策

東菅野にある児童交通公園は、今年3月にリニューアルオープンしました。以前は遊具や交通標識もボロボロだったというくらい老朽化がすすんでいました。

リニューアル後、公園を利用して親子連れが多くなったと思われ、利用者数を聞きました。平成26年度は4万4千人、27年度は4万6千人、11月から3月までは閉園していた関係で3万1千人、

2カ月で同時期よりも280人増えたということです。これから夏休みに入り、ますます利用者が増えると思いますが、出入り口の安全対策を求める声が届いており、私は市に対策を求めました。公園前の道路は、通行する車両が多く、公園側には歩道がありません。飛び出し防止柵を設置し、電柱には「子ども多しスピード落とせ」という看板が設置してあります

が、ぜんぜん目立ちません。さらなる安全対策を求めました。市は、公園の出入り口脇の外壁に、横断歩道を渡る際の安全確認の看板設置や車両に対してもスピード抑制など注意を促す看板を取り付け、安全対策をしっかりとっていくことを約束しました。

都議選で共産党が19議席に伸ばす

7月2日投票で行われた都議会議員選挙では、小池知事率いる都民ファーストが過半数を占め、自民党が歴史的敗退。共産党は都民の願いを託され、17議席から19議席へと伸ばしました。

無料法律相談

◎8月8日(火)
担当 藤野善夫弁護士
◎9月12日(火)
担当 白井幸男弁護士
午後2時から5時まで
相談時間はひとり30分
予約は清水または控え室。

《主な活動報告 6月》

☆6月10日 市議団主催の市政懇談会

6月議会に向けた「市政懇談会」を開催。「外環代替地を積極的に活用してほしい」「道の駅では地元の自治会に相談がない」「公共施設の使用料を下げしてほしい」「里見公園分園の桜の木はどうなったのか」など、たくさんの質問や意見が出されました。



☆6月17日 西部地域で「介護カフェ」

2回目となる「介護カフェ」を開きました。何回聞いても理解するまでに時間がかかると参加者からの声。「股関節に障害があり治療院に毎回タクシーで行く。補助はないのか」など質問がありました。

☆6月24日 千葉県社保協のシンポジウム

いま政府が進めようとしている「我が事・丸ごと地域「共生」社会って」と題して、基調報告。自己責任と互助を基本とする地域ケアシステムをすすめようとしていることに警告を発しました。シンポジウムでもそれぞれが体験を報告し、意見交換されました。

☆6月25日 第45回ちば保育のつどいに参加

県内から約200人の保育士などが集まりました。記念講演は舞台実演家のただじゅんさん。「心もからだもまるごと育てる遊びのチカラ」と題して、子どもたちや大人の心理をうまくとらえたお話をしてくれました。午後からは分科会が行われました。

